



# 子どもの意見を反映させた教育活動

## ～令和6年度 中野区立第二中学校の取り組み～

中野区では、子どもたちの意見を生かして、特色ある教育活動を充実させることで、子どもたちの達成感、成就感、自己肯定感、他者とのつながり等を高めることができる学校づくりを進めています。

これまでも全区立小・中学校で行っていた、子どもが主体となって学級活動や生活会活動、学校行事等において、活動の内容を決める場をより増やすための取組として、「子供の意見を反映させた教育活動」を行い、子どもたちが意見や考え、思いを安心して表明できる場を充実させています。

- 実施日 令和6年12月12日(木) 5, 6時間目
- 対象 全校生徒
- 会場 第二中学校体育館
- 出演団体 和太鼓演奏団体《暁》



内容の決定については、全校の生徒に生徒会がフォームでアンケートを取り、要望が多かったジャンルの中から、「和太鼓演奏団体《暁》」を選出しました。

「暁」は～日本一の太鼓で夢と感動を～テーマに多様な和楽器(和太鼓・篠笛・津軽三味線)と書道を融合させたパフォーマンスを披露していただける団体です。

講演当日の運営は生徒会が中心となって行い、演奏を聴くだけでなく、生徒達も実際に和楽器を体験したり、書道パフォーマンスといったアトラクションを経験することができました。講演会最後の書道パフォーマンスでは、縦横2m以上の和紙の上に、「受験合格」の文字を書きいただきました。

文字の決定は、生徒会が中心となって考え、これまでお世話になった3年の先輩方に対するメッセージとして、受験が終了するまで、3学年のフロアーに展示されました。生徒たちは、当日の講演会を通して、「五感で学べる演奏」「楽しさ溢れる演奏」「本格的な“和”のパフォーマンス」を体感するとともに、普段授業で使用している体育館が「劇場」のような特別な空間となり、非日常の空間で特別な体験を得ることができました。

